

この春、卒業された皆さんへ

「明専の絆をさらに大きく！」

一般社団法人 明専会会長 高原 正雄（機43）



皆さん、ご卒業おめでとうござい
ます。永い学業生活を終えて、いよ
いよ新しい道に踏み出すことになり
ます。これまでに培った高度な知識
や見識を身に携え、希望を抱いて世
の中に羽ばたいてください。皆さん
は、明専会にとって令和最初の卒業
生でありますので、大切にお迎えし
たいと思っております。

また、今日まで見守って育ててこ
られたご両親やご家族の皆様のお喜
びはひとしおのことと拝察いたしま
す。心よりお祝いを申し上げます。
しかし、このおめでたい卒業式が
昨年12月に中国・武漢で発生し感
染が世界中に拡大し続けている

COVID-19のために、急遽中止と
なりました。皆さんは、この大変な
事態を許容し、前に一步を進み出て
いただきたいと願うのみであります。

さて、エンジニアの卵である若い
皆さんは、この節目の今こそ、大き
な志を持つべきだと思います。あの
有名な北海道開拓の父と言われたウ
イリアム・スミス・クラーク先生の
言葉「Boys be ambitious」（少年よ、
大志を抱け）のあとに、「Like this old
man」（この老人のように）の言葉
が続いていました。この老人とは、
クラーク先生のことだと思っていま
したが、寒冷地稲作の父と言われた
中山久蔵氏、当時40歳のことだった
とも言われております。いずれにし
ても、自らの人生に誇りを持てる人
は、若いうちから世のため人のため
になる大きな志を持っていて、老人
になっても尚かつ大志を抱き続けて
いるわけです。

本学の創始者である九州の炭鉱

王・安川敬一郎翁と教育界の巨星・
山川健次郎先生の崇高なる開学の理
念「技術に堪能なる士君子の養成」
は、クラーク先生の教えと重なるも
のがあります。皆さんは、名門明専
のDNAを受け継いでいるわけであ
りますから、自分のためとか、自分
の会社のためとかというのではなく、
世のため人のために自分の能力を活
かしていただきたいと切望いたし
ます。

本学の卒業生からなる明専会は、
大正、昭和、平成、そして、この春、
令和の4時代から構成されています。
今後、皆さんは明専会の正会員に
なっていくわけでありますので、明
専会というのはいったい何なのかを
簡単に解説しておきます。

明専会は『同窓の友情を保ち、親
睦を厚くして、相互の連絡を計り、
そして、後進の誘掖に努める』を目
的とした典型的な同窓会組織であり
ますが、併せて母校および学生の支
援事業を大きな柱とした、いわゆる、
公益に関わる事業を行う社団法人で
もありません。全国に45支部16分会を
有し、その絆と結束力は他に例を見
ないほど強いと言われております。

110年もの永い歴史の中で、明専およ
び九州工大で切磋琢磨した卒業生は
6万人にのほりりましたが、その中の
多くの先達が国内のみならず世界の
舞台において大きな足跡を残し、『明
専』の名をさらに高めました。そし
て、彼らは事ある度に熱い母校愛と
同窓の絆で明専会に集い、惜しみな
く母校を支援してきました。その結
果、母校はますます素晴らしい人材
を育成して世の中に輩出することが
できています。こういった素晴らし
い好循環が九州工大と明専会の絆を
さらに強くしております。皆さんは、
卒業のこの機に新しい時代における
明専の絆を形成し、自身がグローバ
ルに活躍できるプロフェッショナ
ル・エンジニアになれるようにして
いただきたいと思います。

最後になりますが、今まで育てて
いただいたご両親やご家族のご恩に
対しては、気持ちだけではなく立派
な形あるもので表すことが大事です。
例えば、分かりやすく言いますと、
初任給の全額は、まずはお母様に上
げることが一番の恩返しだと思います。

（いすゞ自動車(株)理事）